

令和4年 4月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川流域治水出張所
実施日	令和 4年 4月 26日	実施区間	放水路:行明橋付近
<p>今月は 行明橋付近の報告です。先月 松原用水が この付近でサイフォン管を利用して放水路の下を 通っていることを書きました。このことについて もう 少し理解を深めたいと思い 行明橋のたもとにある 松原用水土地改良区管理所をたずねてお話を聞き ました。</p>			
<p>松原用水は 水不足に苦悩していた 豊川右岸地域に かんがい用水を供給するため、必要な用水を豊川に 求め、1567年に豊川に取水堰を造ったことが始まりで 現在、受益面積642haを潤しています。その松原幹線 水路が この付近で放水路と交わります。</p>			
<p>パイプは二本あり 青線は 土地改良区管理所の横 を流れる開放された用水路で 雨水などの排水がと おっています。それに対し赤線は田んぼやハウスに 給水される給水管です。上流の牟呂松原頭首工から 取水され閉じられた管によりそれぞれに給水される管</p>			
<p>です。サイフォンの原理は“隙間のない管を利用して液体をある地点から目的地まで途中出発地点より 高い地点を通して導く装置”とあります。で、放水路の下の管が 冬の間も水で満たされているのが 疑問点でしたが このあたりは放水路の周りにもあるハウスでの園芸が盛んなので 一年中途切れる ことなくサイフォンを使って給水されているそうです。</p>			
<p>松原用水は大村井水と呼ばれていましたが、古来より大雨で堰が壊されること数度。なんとかして 完成させたいと 大村の八人の庄屋が身を捧げたという伝説が 近くの八所神社にあるそうです。</p>			
<p>2017年には 国際かんがい排水委員会により 松原用水・牟呂用水は世界かんがい施設遺産に 登録されました。もっと 地元の人々が 関心をもつと いいと思います。</p>			
		河川愛護モニター	